

浜の活力再生プラン
令和 6 ～ 1 0 年度
第 3 期

1 地域水産業再生委員会 浜プラン (ID 1126003)

組織名	岡山市地域水産業再生委員会
代表者名	豊田 安彦 (朝日漁業協同組合代表理事組合長)

再生委員会の構成員	朝日漁業協同組合、九幡漁業協同組合、岡山市漁業協同組合、小串漁業協同組合、岡山市
オブザーバー	岡山県農林水産部水産課、岡山県漁業協同組合連合会

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	1 「地域の範囲」 岡山市 (朝日、九幡、岡山市、小串漁業協同組合管内) (対象漁業者数 3 2 名) 2 「漁業の種類」 ○ノリ養殖業 (専業) 1 6 名 ○ノリ養殖業と漁船漁業の兼業 5 名 流網漁業と兼業 (5) ○漁船漁業 (専業) 1 1 名 流網漁業 (4) 小型底びき網漁業 (7) (令和 6 年 5 月 2 2 日現在)
-------------------	---

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

当地区は、児島湾及びそれに接続する周辺の海域を範囲とし、児島湾には一級河川の旭川、吉井川から豊富な栄養分が供給されており、古くから漁業が営まれている。現在の主な漁場である湾外の海域は、岡山県内でも有数のノリ養殖漁場であり、他に小型底びき網漁業が行われている。また、沖合ではサワラ、マナガツオが回遊するため流網漁業も行われている。

一方、湾内は古くは好漁場であったが、明治時代以降に実施された大規模な干拓事業で狭められ、さらに昭和 34 年に完成した児島湾締切堤防により湾の東西を分断して西側を淡水化したことにより、現在ではその海域の多くを失い、潮の流れが変わるなどの結果として、魚介類の棲みにくい海となり、かつての好漁場も失われている。

このため、ノリ養殖業についても湾内での養殖をあきらめ、昭和 40 年頃から湾外の離島である犬島の周辺海域へと主漁場を移しており、湾内における漁業は衰退の一途をたどっている。

現在、犬島周辺など湾外の海域を主漁場としているノリ養殖業では、海中の栄養塩の減少による生産量の減少やノリの色落ちによる品質低下が発生しており、その要因として、主要河川上流部におけるダム建設や流域市町の公共下水道の普及が指摘されている。また、近年の海水温上昇の影響

で網の張り込み時期が遅くなり漁期が短くなっていることや、鳥類であるカモ、魚類であるクロダイ等によるノリの食害などにより生産量の減少もみられる。さらに、ノリ養殖業はノリ網の張り込みやノリの摘み取りなど海上作業が重労働であることに加え、漁船や設備に高額投資が必要なものもあり、後継者が育たない状況となっている。

漁船漁業においても、児島湾内外の水産資源が減少するなか、消費者の魚離れや量販店の台頭による魚価の低迷、世界情勢の影響による燃油や資材の高騰によるコスト増から収益が悪化している。

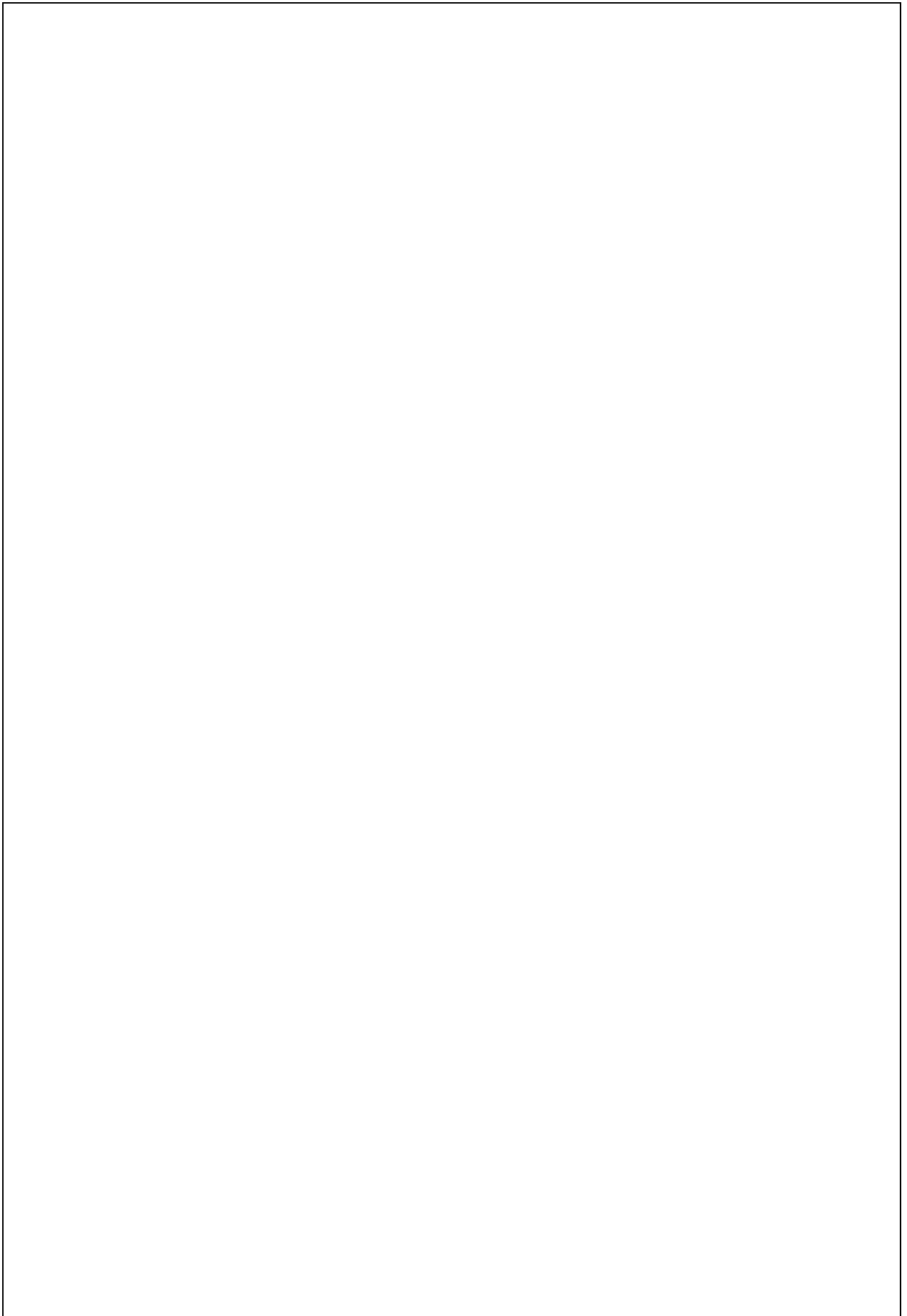
(2) その他の関連する現状等

岡山市は、岡山平野の中央に位置し、南部には広大な干拓地、北部には吉備高原につながる山並みが広がり、その市域は約790km²に及んでいる。各地域では地形の特性や恵まれた気候風土を生かしつつ、米・麦、果樹、野菜、さらには花き、酪農、養鶏、ノリ（養殖）など多彩な農林水産業が営まれており、総農家戸数第5位（令和2年）の全国でも有数の農業都市となっている。

3 活性化の取組方針

(1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

--



(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

1 漁業収益向上のための取組

(1) ノリの安定生産と品質向上の取組

- ・硝酸塩センサーのデータを参考にした養殖作業、養殖業者間での情報共有や協業（共同乾燥など）等によるノリの品質向上、均一化を進めるとともに、ノリ加工場の衛生管理等を徹底し地区全体の信頼性確保に努める。
- ・海域の栄養塩増加のため、海底耕うんや森林整備への協力等の取組を行う。
- ・ノリの食害被害対策を図る。

(2) 岡山県産ノリの知名度向上

- ・イベントやパネル展等を利用して、県産ノリの知名度の向上を図り、需要の拡大を図る。
- ・ノリの黒色と岡山城の黒色をからめて岡山市産ノリを「烏城ブラック」のブランド名で県内外にPRする。

(3) サワラの鮮度向上の取組

漁船漁業者は、漁獲後のサワラの鮮度保持の方法について検討を行い、対策を実施することで魚価向上を図る。

(4) アキアミの単価安定の取組

漁船漁業者は、アキアミは漁獲量の変動が激しく好漁の時は値崩れしやすいため、1日あたりの漁獲量と出荷量に加え出漁時間帯も制限を行い、単価の安定化を図る。

(5) 資源管理型漁業の推進

資源の維持増大のため、種苗放流、中間育成事業を継続するとともに、サワラの受精卵放流や小型魚の放流に積極的に取り組む。

(6) 漁場保全活動の取組

- ・年1回の一斉海岸清掃をはじめ、漁期前に海底耕うんを実施し、漁場の保全に努める。
- ・地元小学校と連携してアマモ場の再生に努めるとともに、子どもに海とふれあう場を提供することで、浜への関心を高める。

(7) 有害鳥類やクロダイなどによる食害への対策

近年、カモやカワウなどの有害鳥類による漁業被害が拡大していることから、猟友会等と連携し有害鳥類の駆除に取り組むとともに、クロダイによる食害が深刻となっていることから県や市、その他関係機関と連携して、食害被害の詳細な調査や対策を検討する。

2 漁場コストの削減のための取組

(1) 漁業経営の基盤強化

- ・漁船の船底清掃を実施等の低コスト操業により燃油使用量の削減を図る。
- ・ノリ養殖業者は、作業の効率化を徹底することで燃油使用量の削減を図る。
- ・ノリ養殖業者は、設備投資による生産コストの増大に対応するため、数名での協業化（共同乾燥など）の可能性を探る。

3 漁村の活性化のための取組

(1) 意欲ある漁業者の育成

- ・計画的な漁業経営を行うことができる意欲ある漁業者の育成に努める。

(2) 漁業者と地域の交流

- ・小串漁協は、地元小学校と連携してアマモの種とり、播種を行い、アマモ場の再生に努める

とともに、子どもに海とふれあう場を提供することで、浜への関心を高めてもらう。

- ・ノリスき体験（隔年開催）などを行うことで、子ども達への水産業への関心を高め、地域や消費者と漁業者との交流を推進し、水産物の消費拡大を図る。

（３）その他の取組

- ・各漁協は、計画的に漁港の整備、保全、防災対策について県、市に要望する。
- ・ホームページやSNSなどを積極的に活用して浜の状況を発信し、岡山市地域漁業全体の知名度向上を図り、漁業者の多様な所得向上を目指す。

（３）資源管理に係る取組

岡山県漁業調整規則、瀬戸内海広域漁業調整委員会指示及び岡山海区漁業調整委員会指示並びに東部地区資源管理型漁業漁業者協議会の自主的資源管理措置に基づき、網目の制限、休漁、出荷量制限及び一部の魚種の採捕に制限を設け、遵守している。

ノリ養殖業については、岡山県ノリ養殖漁場改善計画の規定により、適正養殖可能数量を遵守するとともに、漁場の適正利用に努めている。

（４）具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

１年目（令和６年度）

所得向上率（基準年比）2.0%

漁業収入向上 のための取組	○ノリの安定生産と品質向上の取組 ●ノリ養殖業者は、ノリ加工場の衛生管理等を徹底し地区全体の信頼性確保に努める。 ●ノリ養殖業者は、硝酸塩連続観測データを参考に、ノリが色落ちする前に摘み取るなど被害の軽減を図る。 ●ノリ養殖業者は、ノリ養殖学習会やのり漁場協議会など養殖業者間での情報共有（共販における商社買付動向など）や協業化（共同乾燥など）等に向けて情報収集を行いノリの品質向上、均一化に向けて検討を進める。 ●ノリ養殖業者は、海域の栄養塩増加のため、県水産研究所の意見を参考に、より有効な箇所での海底耕うんに漁業者全体で取り組む。 ●漁協や漁業者は、長期的な視点から豊かな海を目指すため、漁業後継者を中心とした若い世代が、上流域の森林の下草刈り等、森林整備に取り組む。 ●ノリ養殖業者は、食害対策の研修会や先進的な取組を行う漁協等に視察を行いクロダイやカモによる食害対策に取り組む。 ○岡山県産ノリの知名度向上 ●ノリ養殖業者は、「地産地消マルシェ」や地元プロスポーツチームのPRブースなどのイベントやパネル展等に積極的に参加し、試供品の提供や販売などを通じて県産ノリの知名度の向上と需要の増加を図る。 ●漁協は、ノリの黒色と岡山城の黒色をからめて岡山市産ノリを「烏城ブラック」のブランド名で県内外にPRする。 ○サワラの鮮度向上の取組 ●漁船漁業者は、漁獲後のサワラの鮮度保持の方法について、市場関係者や県
------------------	--

	水産研究所、県水産課、漁業者間で情報交換、検討を行う。 ○アキアミの単価安定の取組 ●漁船漁業者は、アキアミの値崩れを防ぐため、1日あたりの漁獲量と出荷量、出漁時間の制限を行う。 ○資源管理型漁業の推進 ●漁業者、漁協及び市は、県水産研究所と連携し、種苗放流、中間育成事業を実施するとともに、サワラの受精卵放流などを行う。 ○漁場保全活動の取組 ●全漁業者は、市の協力のもと、年1回の一斉海岸清掃をはじめ、漁期前に海底耕うんを実施するなど、随時、漁場の保全に努める。 ●災害等有事の際には国、県、市等と連携して、漁場の環境回復に努める。 ●小串漁協は、地元小学校と連携してアマモの種とり、播種を行い、アマモ場の再生に努める。 ○有害鳥類などによる食害への対策 ●ノリ養殖業者は、県水産課や市、岡山県漁連等の関係機関と連携して、食害被害の詳細な調査方法について検討する。 ●ノリ養殖業者は食害対策の研修会や先進的な取組を行う漁協等への視察に参加し、クロダイによるノリの食害対策の情報収集を行う。
漁業コスト削減のための取組	○省燃油活動 ●全漁業者は、漁船の船底清掃を実施するとともに、巡航時の回転数を下げ、燃油使用量を削減する。 ●ノリ養殖業者は、作業の効率化を徹底し、漁場までの資材等の運搬回数を減らす。 ○ノリ養殖の協業化 ●ノリ養殖業者は、設備投資による生産コストの高騰等に対処するため、数名での協業化（共同乾燥など）を検討する。 ○漁業経営セーフティーネット構築事業への積極的な参加 ●漁協は、燃油の高騰による漁業コストの圧迫に備えるため、組合員に対して漁業経営セーフティーネット構築事業に積極的な参加を促す。
漁村の活性化のための取組	○意欲ある漁業者の育成 ・漁協は、先進地視察への漁業者の参加や勉強会の開催により計画的な漁業経営を行う人材の育成に努める。 ・漁協はノリ加工場の集約化や漁港施設の合理化を進め、作業負担軽減を図り漁業者の就業環境の改善に努める。 ○漁業者と地域の交流 ・漁協は、地元小学校の児童を対象にノリすき体験を実施し、水産業への関心を高める。 ・漁業者は、地元小学校と連携してアマモ場の再生に努め、子どもに海と触れ合う場所を提供し、浜への関心を高めてもらう。 ○その他の取組

	・各漁協は、計画的な漁港の整備、保全、防災対策について、県、市に要望を行う。 ・ホームページやSNSなどを積極的に活用して浜の状況を発信することで、ノリ、サワラ、ウナギ等、岡山市地域漁業全体の知名度を図り、漁業者の多様な所得向上を目指す。
活用する支援措置等	漁業経営セーフティーネット構築事業 漁業近代化資金 岡山県漁業振興特別対策事業（県） 岡山市水産業振興補助金（市） 水産基盤整備事業（国） 農山漁村地域整備交付金（国） 地方創生港整備交付金（国） ALPS 処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業（国）

2 年目（令和 7 年度）

所得向上率（基準年比）4.0%向上

漁業収入向上のための取組	○ノリの安定生産と品質向上の取組 ●ノリ養殖業者は、ノリ加工場の衛生管理等を徹底し地区全体の信頼性確保に努める。 ●ノリ養殖業者は、硝酸塩連続観測データを参考に、ノリが色落ちする前に摘み取るなど被害の軽減を図る。 ●ノリ養殖業者は、ノリ養殖学習会やのり漁場協議会など養殖業者間での情報共有（共販における商社買付動向など）や協業化（共同乾燥など）等について意見交換や研究を行い、ノリの品質向上、均一化を進める。 ●ノリ養殖業者は、海域の栄養塩増加のため、県水産研究所の意見を参考に、より有効な箇所での海底耕うんに漁業者全体で取り組む。 ●漁協や漁業者は、長期的な視点から豊かな海を目指すため、漁業後継者を中心とした若い世代が、上流域の森林の下草刈り等、森林整備に取り組む。 ●ノリ養殖業者は、食害対策の研修会や先進的な取組を行う漁協等に視察を行いクロダイやカモによる食害対策に取り組む。 ○岡山県産ノリの知名度向上 ●ノリ養殖業者は、毎年5月に開催している「とれたて岡山魚フェスタ」をはじめ、「地産地消マルシェ」や地元スポーツチームのPRブースなどのイベントやパネル展等に積極的に参加し、試供品の提供や販売などを通じて県産ノリの知名度の向上と需要の増加を図る。 ●漁協は、ノリの黒色と岡山城の黒色をからめて岡山市産ノリを「烏城ブラック」のブランド名で県内外にPRする。 ○サワラの鮮度向上の取組 ●漁船漁業者は、漁獲後のサワラの鮮度保持の方法について、市場関係者や県水産研究所、県水産課、漁業者間で情報交換、試行を行う。
--------------	--

	○アキアミの単価安定の取組 ●漁船漁業者は、アキアミの値崩れを防ぐため、1日あたりの漁獲量と出荷量、出漁時間の制限を行う。 ○資源管理型漁業の推進 ●漁業者、漁協及び市は、県水産研究所と連携し、種苗放流、中間育成事業を実施するとともに、サワラの受精卵放流などを行う。 ○漁場保全活動の取組 ●全漁業者は、市の協力のもと、年1回の一斉海岸清掃をはじめ、漁期前に海底耕うんを実施するなど、随時、漁場の保全に努める。 ●災害等有事の際には国、県、市等と連携して、漁場の環境回復に努める。 ●小串漁協は、地元小学校と連携してアマモの種とり、播種を行い、アマモ場の再生に努める。 ○有害鳥類などによる食害への対策 ●全漁業者は、県水産課や市、岡山県漁連等の関係機関と連携して、食害被害の詳細な調査方法について検討する。 ●ノリ養殖業者は食害対策の研修会や先進的な取組を行う漁協等への視察に参加した結果を検証し、試行・研究を行いクロダイによるノリの食害対策に取り組む。
漁業コスト削減のための取組	○省燃油活動 ●全漁業者は、漁船の船底清掃を実施するとともに、巡航時の回転数を下げ、燃油使用量を削減する。 ●ノリ養殖業者は、作業の効率化を徹底し、漁場までの資材等の運搬回数を減らす。 ○ノリ養殖の協業化 ●ノリ養殖業者は、設備投資による生産コストの高騰等に対処するため、数名での協業化（共同乾燥など）について意見交換や研究を行う。 ○漁業経営セーフティーネット構築事業への積極的な参加 ●漁協は、燃油の高騰による漁業コストの圧迫に備えるため、組合員に対して漁業経営セーフティーネット構築事業に積極的な参加を促す。
漁村の活性化のための取組	○意欲ある漁業者の育成 ・漁協は、先進地視察への漁業者の参加や勉強会の開催により計画的な漁業経営を行う人材の育成に努める。 ・漁協はノリ加工場の集約化や漁港施設の合理化を進め、作業負担軽減を図り漁業者の就業環境の改善に努める。 ○漁業者と地域の交流 ・漁協は、地元小学校の児童を対象にノリすき体験を実施し、水産業への関心を高める。 ・漁業者は、地元小学校と連携してアマモ場の再生に努め、子どもに海と触れ合う場所を提供し、浜への関心を高めてもらう。 ○その他の取組

	・各漁協は、計画的な漁港の整備、保全、防災対策について、県、市に要望を行う。 ・ホームページやSNSなどを積極的に活用して浜の状況を発信することで、ノリ、サワラ、ウナギ等、岡山市地域漁業全体の知名度を図り、漁業者の多様な所得向上を目指す。
活用する支援措置等	漁業経営セーフティーネット構築事業 漁業近代化資金 岡山県漁業振興特別対策事業（県） 岡山市水産業振興補助金（市） 水産基盤整備事業（国） 農山漁村地域整備交付金（国） 地方創生港整備交付金（国） ALPS 処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業（国）

3 年目（令和 8 年度）

所得向上率（基準年比）6.0%向上

漁業収入向上のための取組	○ノリの安定生産と品質向上の取組 ●ノリ養殖業者は、ノリ加工場の衛生管理等を徹底し地区全体の信頼性確保に努める。 ●ノリ養殖業者は、硝酸塩連続観測データを参考に、ノリが色落ちする前に摘み取るなど被害の軽減を図る。 ●ノリ養殖業者は、ノリ養殖学習会やのり漁場協議会など養殖業者間での情報共有（共販における商社買付動向など）や協業化（共同乾燥など）等について意見交換や研究を行い、よるノリの品質向上、均一化を進める。 ●ノリ養殖業者は、海域の栄養塩増加のため、県水産研究所の意見を参考に、より有効な箇所での海底耕うんに漁業者全体で取り組む。 ●漁協や漁業者は、長期的な視点から豊かな海を目指すため、漁業後継者を中心とした若い世代が、上流域の森林の下草刈り等、森林整備に取り組む。 ●ノリ養殖業者は、食害対策の研修会や先進的な取組を行う漁協等に視察を行いクロダイやカモによる食害対策に取り組む。 ○岡山県産ノリの知名度向上 ●ノリ養殖業者は、毎年5月に開催している「とれたて岡山魚フェスタ」をはじめ、「地産地消マルシェ」や地元スポーツチームのPRブースなどのイベントやパネル展等に積極的に参加し、試供品の提供や販売などを通じて県産ノリの知名度の向上と需要の増加を図る。 ●漁協は、ノリの黒色と岡山城の黒色をからめて岡山市産ノリを「烏城ブラック」のブランド名で県内外にPRする。 ○サワラの鮮度向上の取組 ●漁船漁業者は、漁獲後のサワラの鮮度保持の方法について、市場関係者や県水産研究所、県水産課、漁業者間で情報交換、試行を行う。
--------------	--

	○アキアミの単価安定の取組 ●漁船漁業者は、アキアミの値崩れを防ぐため、1日あたりの漁獲量と出荷量、出漁時間の制限を行う。 ○資源管理型漁業の推進 ●漁業者、漁協及び市は、県水産研究所と連携し、種苗放流、中間育成事業を実施するとともに、サワラの受精卵放流などを行う。 ○漁場保全活動の取組 ●全漁業者は、市の協力のもと、年1回の一斉海岸清掃をはじめ、漁期前に海底耕うんを実施するなど、随時、漁場の保全に努める。 ●災害等有事の際には国、県、市等と連携して、漁場の環境回復に努める。 ●小串漁協は、地元小学校と連携してアマモの種とり、播種を行い、アマモ場の再生に努める。 ○有害鳥類などによる食害への対策 ●全漁業者は、県水産課や市、岡山県漁連等の関係機関と連携して、食害被害の詳細な調査を実施し成果検証を行う。 ●ノリ養殖業者は食害対策の研修会や先進的な取組を行う漁協等への視察に参加した結果を検証し、試行・研究を行いクロダイによるノリの食害対策に取り組む。
漁業コスト削減のための取組	○省燃油活動 ●全漁業者は、漁船の船底清掃を実施するとともに、巡航時の回転数を下げ、燃油使用量を削減する。 ●ノリ養殖業者は、作業の効率化を徹底し、漁場までの資材等の運搬回数を減らす。 ○ノリ養殖の協業化 ●ノリ養殖業者は、設備投資による生産コストの高騰等に対処するため、数名での協業化（共同乾燥など）について問題点等の検証を行う。 ○漁業経営セーフティーネット構築事業への積極的な参加 ●漁協は、燃油の高騰による漁業コストの圧迫に備えるため、組合員に対して漁業経営セーフティーネット構築事業に積極的な参加を促す。
漁村の活性化のための取組	○意欲ある漁業者の育成 ・漁協は、先進地視察への漁業者の参加や勉強会の開催により計画的な漁業経営を行う人材の育成に努める。 ・漁協はノリ加工場の集約化や漁港施設の合理化を進め、作業負担軽減を図り漁業者の就業環境の改善に努める。 ○漁業者と地域の交流 ・漁協は、地元小学校の児童を対象にノリすき体験を実施し、水産業への関心を高める。 ・漁業者は、地元小学校と連携してアマモ場の再生に努め、子どもに海と触れ合う場所を提供し、浜への関心を高めてもらう。 ○その他の取組

	・各漁協は、計画的な漁港の整備、保全、防災対策について、県、市に要望を行う。 ・ホームページやSNSなどを積極的に活用して浜の状況を発信することで、ノリ、サワラ、ウナギ等、岡山市地域漁業全体の知名度を図り、漁業者の多様な所得向上を目指す。
活用する支援措置等	漁業経営セーフティーネット構築事業 漁業近代化資金 岡山県漁業振興特別対策事業（県） 岡山市水産業振興補助金（市） 水産基盤整備事業（国） 農山漁村地域整備交付金（国） 地方創生港整備交付金（国） ALPS 処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業（国）

4 年目（令和 9 年度）

所得向上率（基準年比）8.0%向上

漁業収入向上のための取組	○ノリの安定生産と品質向上の取組 ●ノリ養殖業者は、ノリ加工場の衛生管理等を徹底し地区全体の信頼性確保に努める。 ●ノリ養殖業者は、硝酸塩連続観測データを参考に、ノリが色落ちする前に摘み取るなど被害の軽減を図る。 ●ノリ養殖業者は、ノリ養殖学習会やのり漁場協議会など養殖業者間での情報共有（共販における商社買付動向など）や協業化（共同乾燥など）等について意見交換や研究を行い、ノリの品質向上、均一化を進める。 ●ノリ養殖業者は、海域の栄養塩増加のため、県水産研究所の意見を参考に、より有効な箇所での海底耕うんに漁業者全体で取り組む。 ●漁協や漁業者は、長期的な視点から豊かな海を目指すため、漁業後継者を中心とした若い世代が、上流域の森林の下草刈り等、森林整備に取り組む。 ●ノリ養殖業者は、食害対策の研修会や先進的な取組を行う漁協等に視察を行いクロダイやカモによる食害対策に取り組む。 ○岡山県産ノリの知名度向上 ●ノリ養殖業者は、毎年5月に開催している「とれたて岡山魚フェスタ」をはじめ、「地産地消マルシェ」や地元スポーツチームのPRブースなどのイベントやパネル展等に積極的に参加し、試供品の提供や販売などを通じて県産ノリの知名度の向上と需要の増加を図る。 ●漁協は、ノリの黒色と岡山城の黒色をからめて岡山市産ノリを「烏城ブラック」のブランド名で県内外にPRする。 ○サワラの鮮度向上の取組 ●漁船漁業者は、漁獲後のサワラの鮮度保持の方法について、市場関係者や県水産研究所、県水産課、漁業者間で情報交換、検証を行う。
--------------	--

	○アキアミの単価安定の取組 ●漁船漁業者は、アキアミの値崩れを防ぐため、1日あたりの漁獲量と出荷量、出漁時間の制限を行う。 ○資源管理型漁業の推進 ●漁業者、漁協及び市は、県水産研究所と連携し、種苗放流、中間育成事業を実施するとともに、サワラの受精卵放流などを行う。 ○漁場保全活動の取組 ●全漁業者は、市の協力のもと、年1回の一斉海岸清掃をはじめ、漁期前に海底耕うんを実施するなど、随時、漁場の保全に努める。 ●災害等有事の際には国、県、市等と連携して、漁場の環境回復に努める。 ●小串漁協は、地元小学校と連携してアマモの種とり、播種を行い、アマモ場の再生に努める。 ○有害鳥類などによる食害への対策 ●全漁業者は、県水産課や市、岡山県漁連等の関係機関と連携して、食害被害の詳細な調査について、必要であれば継続し、また、成果検証に基づいた対策を検討し可能なものは試験実施する。 ●ノリ養殖業者は食害対策の研修会や先進的な取組を行う漁協等への視察に参加した結果を検証し、試行・研究を行いクロダイによるノリの食害対策に取り組む。
漁業コスト削減のための取組	○省燃油活動 ●全漁業者は、漁船の船底清掃を実施するとともに、巡航時の回転数を下げ、燃油使用量を削減する。 ●ノリ養殖業者は、作業の効率化を徹底し、漁場までの資材等の運搬回数を減らす。 ○ノリ養殖の協業化 ●ノリ養殖業者は、設備投資による生産コストの高騰等に対処するため、数名での協業化（共同乾燥など）について検証を行う。 ○漁業経営セーフティーネット構築事業への積極的な参加 ●漁協は、燃油の高騰による漁業コストの圧迫に備えるため、組合員に対して漁業経営セーフティーネット構築事業に積極的な参加を促す。
漁村の活性化のための取組	○意欲ある漁業者の育成 ・漁協は、先進地視察への漁業者の参加や勉強会の開催により計画的な漁業経営を行う人材の育成に努める。 ・漁協はノリ加工場の集約化や漁港施設の合理化を進め、作業負担軽減を図り漁業者の就業環境の改善に努める。 ○漁業者と地域の交流 ・漁協は、地元小学校の児童を対象にノリすき体験を実施し、水産業への関心を高める。 ・漁業者は、地元小学校と連携してアマモ場の再生に努め、子どもに海と触れ合う場所を提供し、浜への関心を高めてもらう。

	○その他の取組 ・各漁協は、計画的な漁港の整備、保全、防災対策について、県、市に要望を行う。 ・ホームページやSNSなどを積極的に活用して浜の状況を発信することで、ノリ、サワラ、ウナギ等、岡山市地域漁業全体の知名度を図り、漁業者の多様な所得向上を目指す。
活用する支援措置等	漁業経営セーフティーネット構築事業 漁業近代化資金 岡山県漁業振興特別対策事業（県） 岡山市水産業振興補助金（市） 水産基盤整備事業（国） 農山漁村地域整備交付金（国） 地方創生港整備交付金（国） ALPS 処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業（国）

5 年目（令和 10 年度）

所得向上率（基準年比 10.0%）

漁業収入向上のための取組	○ノリの安定生産と品質向上の取組 ●ノリ養殖業者は、ノリ加工場の衛生管理等を徹底し地区全体の信頼性確保に努める。 ●ノリ養殖業者は、硝酸塩連続観測データを参考に、ノリが色落ちする前に摘み取るなど被害の軽減を図る。 ●ノリ養殖業者は、ノリ養殖学習会やのり漁場協議会など養殖業者間での情報共有（共販における商社買付動向など）や協業化（共同乾燥など）等について試行しノリの品質向上、均一化を進める。 ●ノリ養殖業者は、海域の栄養塩増加のため、県水産研究所の意見を参考に、より有効な箇所での海底耕うんに漁業者全体で取り組む。 ●漁協や漁業者は、長期的な視点から豊かな海を目指すため、漁業後継者を中心とした若い世代が、上流域の森林の下草刈り等、森林整備に取り組む。 ●ノリ養殖業者は、食害対策の研修会や先進的な取組を行う漁協等に視察を行いクロダイやカモによる食害対策に取り組む。 ○岡山県産ノリの知名度向上 ●ノリ養殖業者は、毎年5月に開催している「とれたて岡山魚フェスタ」をはじめ、「地産地消マルシェ」や地元スポーツチームのPRブースなどのイベントやパネル展等に積極的に参加し、試供品の提供や販売などを通じて県産ノリの知名度の向上と需要の増加を図る。 ●漁協は、ノリの黒色と岡山城の黒色をからめて岡山市産ノリを「烏城ブラック」のブランド名で県内外にPRする。 ○サワラの鮮度向上の取組 ●漁船漁業者は、漁獲後のサワラの鮮度保持の方法について、市場関係者や県
--------------	---

	水産研究所、県水産課、漁業者間で情報交換、実践し魚価向上を図る。 ○アキアミの単価安定の取組 ●漁船漁業者は、アキアミの値崩れを防ぐため、1日あたりの漁獲量と出荷量、出漁時間の制限を行う。 ○資源管理型漁業の推進 ●漁業者、漁協及び市は、県水産研究所と連携し、種苗放流、中間育成事業を実施するとともに、サワラの受精卵放流などを行う。 ○漁場保全活動の取組 ●全漁業者は、市の協力のもと、年1回の一斉海岸清掃をはじめ、漁期前に海底耕うんを実施するなど、随時、漁場の保全に努める。 ●災害等有事の際には国、県、市等と連携して、漁場の環境回復に努める。 ●小串漁協は、地元小学校と連携してアマモの種とり、播種を行い、アマモ場の再生に努める。 ○有害鳥類などによる食害への対策 ●全漁業者は、県水産課や市、岡山県漁連等の関係機関と連携して、食害被害調査結果に基づいた対策を実施し、成果検証を行う。 ●ノリ養殖業者は食害対策の研修会や先進的な取組を行う漁協等への視察を通じて実践したクロダイによるノリの食害対策の課題を検証し、効果的な取組を漁業者間で共有する。
漁業コスト削減のための取組	○省燃油活動 ●全漁業者は、漁船の船底清掃を実施するとともに、巡航時の回転数を下げ、燃油使用量を削減する。 ●ノリ養殖業者は、作業の効率化を徹底し、漁場までの資材等の運搬回数を減らす。 ○ノリ養殖の協業化 ●ノリ養殖業者は、設備投資による生産コストの高騰等に対処するため、数名での協業化（共同乾燥など）を試行する。 ○漁業経営セーフティーネット構築事業への積極的な参加 ●漁協は、燃油の高騰による漁業コストの圧迫に備えるため、組合員に対して漁業経営セーフティーネット構築事業に積極的な参加を促す。
漁村の活性化のための取組	○意欲ある漁業者の育成 ・漁協は、先進地視察への漁業者の参加や勉強会の開催により計画的な漁業経営を行う人材の育成に努める。 ・漁協はノリ加工場の集約化や漁港施設の合理化を進め、作業負担軽減を図り漁業者の就業環境の改善に努める。 ○漁業者と地域の交流 ・漁協は、地元小学校の児童を対象にノリすき体験を実施し、水産業への関心を高める。 ・漁業者は、地元小学校と連携してアマモ場の再生に努め、子どもに海と触れ合う場所を提供し、浜への関心を高めてもらう。

	○その他の取組 ・各漁協は、計画的な漁港の整備、保全、防災対策について、県、市に要望を行う。 ・ホームページやSNSなどを積極的に活用して浜の状況を発信することで、ノリ、サワラ、ウナギ等、岡山市地域漁業全体の知名度を図り、漁業者の多様な所得向上を目指す。
活用する支援措置等	漁業経営セーフティーネット構築事業 漁業近代化資金 岡山県漁業振興特別対策事業（県） 岡山市水産業振興補助金（市） 水産基盤整備事業（国） 農山漁村地域整備交付金（国） 地方創生港整備交付金（国） ALPS 処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業（国）

（５）関係機関との連携

各種取り組みについて、行政（岡山県）、系統団体（岡山県漁連、児島湾漁連）、地域団体（児島湾漁業振興協会等）と連携するとともに、異業種との連携にも注力する。

（６）取組の評価・分析の方法・実施体制

浜プランの取組の実施状況及び効果の発現状況を自ら評価し、取組の改善について年１回開催する岡山市地域水産業再生委員会において、オブザーバーからの意見、助言を踏まえ、次年度以降の取組の内容等を検討し、改善につなげる。

４ 目標

（１）所得目標

漁業所得の向上 10%以上	基準年	
	目標年	

（２）上記の算出方法及びその妥当性

--

--

(3) 所得目標以外の成果目標

養殖ノリの買付等級の向上 及び品質の均一化 ※全量のうち2等級以上の 比率を50%以上に向上	基準年	令和元年～令和4年度の平均： 2等級以上の比率 24.8%
	目標年	令和10年度： 2等級以上の比率 50.0%
正組合員数の増加	基準年	平成30～令和4年度平均： 122人
	目標年	令和10年度： 132人

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

○所得向上の取組に係る成果目標 ノリの買付等級の向上を目指すとともに、品質の均一化を図ることで、安定した買付による所得の下支えを目指す。 数値目標としては、令和元年～4年度のノリの買付等級別実績から2等級以上の平均比率を算出(24.8%)し、目標年には全体の過半を占める50%を目指すこととしたが、当サブ指標においては、商社による大口買付の安定化に重きを置いており、買付動向に注視しながら、更なる等級管理に取り組み、品質の均一化を目指す。
○漁村活性化の取組に係る成果目標 令和元年度から令和4年度の正組合員数は、増減があるものの平均で122人となっており、令和2年度の132人を境に減少傾向となっている。令和6年度以降の目標として正組合員資格の要件を満たせるよう、各漁協での勉強会の実施や漁家経営を支援し、沖に出て水揚げする回数が増えるような状態にすることにより、正組合員資格の要件を満たす者の増員を図り、令和2年度と同じ132人を目標とする。

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
漁業経営セーフティーネット構築事業	燃油高騰による漁業経費の増加に備え漁業所得の確保と安定を図る。
岡山県漁業振興特別対策事業	放流事業と漁協による施設等の整備とその活用。
岡山市水産業振興補助金	漁業協同組合に対する多面的支援。
水産基盤整備事業 農山漁村地域整備交付金	漁業活動の一層の活性化、漁業就労環境の改善及び生活環境の改善を図るために漁港整備を行う。

地方創生港整備交付金	漁港施設の機能保全を行うために必要な機能保全計画の策定及び保全工事を行う。
地方創生港整備交付金	民生の安定上、重要な地域を高潮等による被害から守るために海岸保全施設整備を行う。
ALPS 処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業	ALPS 処理水の海洋放出の影響を乗り越え、漁業者が創意工夫を凝らして取り組む事業を支援することにより、持続可能な漁業継続の実現を図る。